

「総ぐるみ」新聞

平成十九年新春 「初釜」の開催

宮崎 浩子

NPO 総ぐるみ福祉の会事務所は日限山 4・44・23 (八四四一七四七七)
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」 日限山 4・7・1

一月十日、総ぐるみ福祉の会の年明け行事として、昨年に続いて初釜を催しました。

初釜のしつらえは、格調高く「真台子、唐銅皆具総荘」。置き床に掛け軸、香合、結び柳、椿を飾り、置き炉に釜を掛け、松風(釜の湯の沸く音)も清々しく、またお菓子(釜の湯の沸く音)も清々しく、またお菓子は、宮中の正月菓子である「花びら餅」を「和菓子処いしかわ」にお願いして、新年のお祝いをお茶会で行いました。

「台子」点前は、お稽古を重ねている人も、日常点前ではないので間違えてしまい、大橋綾子さんにご指導を受けつつ、厳かな中にも和氣藹々でした。掛け軸は大徳寺僧の墨跡、結び柳は枝垂れ柳を掛け軸より長く畳まで垂らし、お正月の霽囲気を深めました。



大橋綾子さん、山地廣尚さん、手賀雅子さん、重高八重子さん、松尾幸子さん、宮崎の六人が順にお点前をしたので、皆様に二服、三服と差し上げられました。薄茶の楽しみは、亭主も客も、何服も所望しあえることだと思います。

改装した日限山荘は、二十七人の方にお茶とお食事やお酒を楽しんでいただけました。久しぶりに和服をお召しになって、普段は見られないお互いの姿に、話題も一段と盛り上がり、楽しくて、新鮮で、温かい、よい年明けとなりました。

● 初釜に初参加 庄司 俊二

新春の初釜にお招きいただき、心を込めてお茶をおたてくださる姿とお点前にただ見入るのみで、ほとほと感心いたしました。お茶の作法一つ知らぬ私、偶然にも上座に座る結果となり、教えを得ながらも、楽しく過ごすごうことができたことに、感謝しています。

お菓子をいただき、細かい教えを得ながらお茶をいただくうちに、いつの間にか我

流が出てしまい、苦笑いも出ましたが、美味しく、楽しく頂戴することができました。私もこれを契機に、「奥深い茶道」ではありませんが、少しずつ勉強して、会得していきたいと思いますが、どうでしょうね……。そんなことを思いながら、来年の初釜を今から楽しみにしております。

● 初めての茶会 小林 一彦

一月十日の初釜にお誘いいただき、家内と一緒に参加しました。私は今年七十七歳になりますが、これまでお茶会に出席したことはなく、また、「なるべく着物姿で来てください」とのご案内があったので、恥ずかしながら和服など持たない私共、洋服姿で、緊張して日限山荘にまいりました。

会場にはすでに大勢の方が集まり、緋毛氈を敷き延べた席に行儀よく着き、大橋綾子先生のお話を聞いておられました。和服姿に身を整えた女性方は、お茶の支度をなさっており、私共は隣室からその様子を拝見していました。

その間「今日は堅苦しい茶席ではないので、お茶やお菓子を召し上がり、お喋りをしながらお待ちください」と、お煎茶を入れてくださったので、お茶会とは形式ばったものと思っていた私は、嬉しく、気分が楽になりました。それに、男性の参加者は、

文責・編集：藤井香代

健康体操日程：日限山荘：2月6日(火)、20日(火)、23日(金)am10:30-11:30

ほとんど洋服姿でした。
第二陣の私共がお茶席に着くと、足・腰の悪い方には椅子席が用意され、男性は胡座でのぞみ、立派なお茶碗にたてられたお茶を、扱い方など大橋先生の教えを受けながら頂戴しました。
その後、お弁当やお酒をいただき、楽しい新年会であり、私にとって初めての楽しいお茶会となりました。

施設見学会

舞岡柏尾地域ケアプラザ

住みなれた地域で、安心した生活を送ることができるよう、福祉・保健サービス等を身近な場所で総合的に提供して、誰にでも利用できる地域の施設として、「地域ケアプラザ」が各所に出来ています。この地域ケアプラザは、行政が施設を建設し、その運営については、入札によって地元の福祉法人等に任せる方式をとっています。

港南区の地域ケアプラザとしては、日限山地域にはいまだなく、近くでは、野庭、下永谷などにありますが、いずれも遠く、交通の便が悪くて利用しにくい状態です。

昨年十二月、戸塚区の「舞岡柏尾地域ケアプラザ」を見学しました。場所は、日限山の坂を下り、農協前の道を右折して、神奈中バスの駐車場近くの西根バス停を右折した住宅街の上、見晴らしのよい場所にありました。この施設の運営者は、「社会福祉法人

横浜市福祉サービス協会」という介護事業者でした。

●地域の交流拠点

二階に調理室とつながった50名は入れる多目的ホールと、10人程度が使える会議室が各一つずつあります。これらの部屋は、利用者登録をしておけば、無料または格安で借用できます。太極拳、体操、カラオケ、合唱、絵手紙、書道、男性調理教室等、さまざまな地域グループが利用していました。また、ボランティア講座や子育てサロンなどのケアプラザ事業も開催されています。

●地域包括支援センター

高齢者が住みなれた地域でいきいきと生活するために、介護保険を初めとする福祉・医療に関する相談や、さまざまなサービス利用の手伝いを行っています。電話相談は、夜間でも受け付けてくれるそうです。また、ケアマネージャーがいて、要介護、要支援になる恐れのある方々の介護予防プログラム、また、要支援の方の介護予防サービスのケアプランを作成します。

その他、関係機関への連絡、民生委員、ボランティアなど、地域で活動する関係者の連絡調整の支援を行います。

●居宅介護支援

デイサービス等の利用者が、自宅において自立した日常生活が出来るように、必要な居宅サービスの提供や、サービス事業者

と連携をとってケアプラン作成などを行います。

●通所介護(デイサービス)

介護保険で、要支援以上の認定を受けた方々を対象に、入浴、昼食の提供、機能訓練をかねたレクリエーション、趣味の活動などのサービスを提供しています。
利用料は、要介護一：介護料(八百円)＋昼食・おやつ代(六百五十円)、要介護五：入浴介護料(千六百円)＋昼食・おやつ代でした。見学した当日は、浴室の脱衣所で書道が、ダイニングでは椅子に座って体操が行われていました。

第三回座談会を左記のとおり開催します。ぜひご参加下さい。

日時 一月三十日(火)

午後二時～四時

場所 日限山荘

●「大正・昭和の時代と私」

長谷川 致 正氏

●「私の茶道修業」

大橋 綾 子氏

日限山四丁目在住の

上山高史氏を迎えて

ジャズコンサート開催

日時 三月十八日(日)午後二時～

場所 西洗・港南プラザ自治会館

入場料 無料

多数の方のご来場をお待ちしています。